



迎春



題 字
初代会長 松野盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中泉松之助
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail: ask@biscuit.ocn.ne.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

平成二十二年度全国統一防火標語
「消したかな」
あなたを守る
合言葉

が尊い命を失っており、また、七月から八月にかけての豪雨は県内各地に甚大な被害をもたらしました。犠牲となられた方に心から哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

年頭のあいさつ



財団法人
秋田県消防協会
会長 中泉松之助



平成二三年の輝かしい新春を迎え、県民の皆様並びに消防関係者の皆様に謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

消防団員及び消防職員の皆様には、常日頃から消防防災の第一線にあつて、あらゆる災害から県民の生命・財産を守るため、昼夜を問わず献身的に活動されておりますことに對し、心から敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

昨年一一月、愛知県蒲郡市で開催された第二回全国消防操法大会・ポンプ車操法の部で、本県代表の大潟村消防団が優良賞を、また高木茂之団員は本県では初めてとなる優秀選手賞を受賞されました。これで本県代表はポンプ車操法で六期連続、小型ポンプ操法でも四期連続の入賞を果たしており、しかもその間に両部門で優勝するなど、本県の消防操法の水準の-highいことが全国に証明され、誠に誇らしく思っております。

さて、昨年の県内における災害の発生状況であります。火災は三二〇件が発生し、二〇人の方

最近の災害の態様を見ますと、火災や地震、豪雨などの自然災害の多発に加え、一昨年の新型インフルエンザや昨年の口蹄疫などの新たなタイプの災害が出現し、消防が果たすべき役割・任務はますます重要となつてきておりますが、消防団には団員の高齢化や被雇用者団員の増、団員数の減少などの課題があります。

私たち消防関係者は、日々怠りなく万全の体制を整えておくことこそが大事と考え、普段の消防訓練の充実を図ることはもとより、火災から生命を守る住宅用火災警報器の普及などにも取り組んでいる一方で、消防団活性化対策として女性消防団員の入団促進や機能別消防団員・分団制度の導入などを推進し、地域防災力の維持・強化に決意を新たにしているところですので、皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。

当協会では、平成二三年度に新公益法人へ移行すべく、その準備を進めております。この移行を機に、当協会の設立目的であります消防思想の普及啓発や消防防災力の強化を一層推進し、県民の福祉の向上に貢献してまいりますとともに、会員の福利厚生への充実にも努めてまいります。

県民の皆様並びに消防関係者のご健勝と、本年が災害のない平穏な年になりますことを心から祈念いたしました。年頭のご挨拶といたします。

平成二三年の 初春を迎えて



秋田県知事
佐竹 敬久



平成二三年の新春を迎えるにあたり、県内消防関係者の皆様にご挨拶を申し上げます。

火災をはじめ、各種災害から地域の安心・安全を守るため、昼夜を問わず消防防災活動に御尽力いただいております消防団員、消防職員の皆様のご苦勞に対し、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

わが県の消防は、関係各位のたゆまぬ御尽力の積み重ねにより、着実な発展を遂げ、県民の安心・安全の確保に大きな役割をはたしております。

しかしながら、昨年県内において発生した災害を振り返ってみますと、七月から一二月にかけては度々の大雨警報、土砂災害警戒情報が発令され、集中的なゲリラ豪雨により住家被害や土砂崩れが発生したほか、突風による被害も多数発生し、一月には病院内でのインフルエンザ感染による死者が発生するなど痛ましい事案も発生しております。

県といたしましては、このような災害・事故等から県民の生命、身体、財産を守り県民の安心・安全を向上させていくために、消防の広域化や消防施設資機材の充実など消防組織における体制強化とともに災害時要援護者避難支援や消防機関と医療機関との連携を推進する必要があります。

また、本年の六月一日から完全義務化となる「一般家庭における住宅用火災警報器の設置」の推進

や消防団や自主防災組織などの地域における総合的な防災力の強化も併せて、積極的に取り組む所存であります。

皆様におかれましても、県民が安心して暮らせる安全な地域作りのために、なお一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本年が災害の少ない平穏な一年でありますこと、皆様並びに御家族の御健勝を祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

年頭のごあいさつ



秋田県議会議長
富樫 博之



あけましておめでとうございます。

消防関係者の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には、日頃より防災の最前線にあつて、いづこで発生するかわからない災害から県民の生命と財産を守るため、昼夜を分かたず、献身的に活動されておりますことに対し、県議会を代表いたしまして、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

また、皆様の活動を見守り、支えていただいている御家族の方々に対しまして、重ねて御礼を申し上げます。

さて、近年、建築構造様式、生活様式の変化などに伴い、火災等の要因が多様化するとともに、異常気象の影響からゲリラ豪雨といわれる局地的な豪雨被害や竜巻などによる突風被害などの自

年頭のご挨拶



消防庁長官
久保 信保



然災害が全国各地で発生しており、多数のかけがえない生命と貴重な財産が失われております。また、一昨年全世界的に大発生した新型インフルエンザなどの新たな災害も出現しております。こうした様々な災害による被害を最小限に食い止めるためには、国、県、市町村及び地域防災組織が一体となった防災体制の構築が不可欠であるとともに、地域住民一人ひとりが、出火防止や避難、救助などの防災知識や技術を身に付け、日ごろからの自主防災を心がけることが何よりも肝要なことであります。

これまで、地域住民の安全と安心を担い、地域の防災力の中心として御活躍いただいております皆様には、「自らの地域は自らが守る」という郷土愛護の崇高な精神と強い責任感のもとで、地域に密着した地域を熟知する防災のリーダーとして、災害対応をはじめ各種警戒や火災予防広報、更には住民の避難誘導など多岐にわたって大きな役割を果たしていただいております。

皆様におかれましては、これまでと同様に、地域住民が安心して暮らせる安全な地域づくりのため、一層の御精進と御尽力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

終わりに、皆様の益々の御健勝と本年が災害のない平穏な年であることを御祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

平成二三年の新春を迎えるに当たり、全国の消

防関係者の皆様は謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。皆様方には、昼夜を問わず消防防災活動に御尽力いただき、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

我が国の消防は、皆様方のたゆまぬ努力の積み重ねにより、制度、体制、技術等各般にわたり着実な発展を遂げ、国民の安心・安全の確保に大きな役割を果たしているばかりか、国際的にも高い評価をいただいているところです。

昨年は、二月のチリ中部沿岸を震源とする地震による津波、六月から七月にかけての梅雨期における大雨による被害、記録的な猛暑による熱中症の救急搬送人員の増加、十月の鹿児島奄美地方の大雨被害など、様々な災害が各地で大きな被害をもたらしました。

また、三月の札幌市グループホーム火災の様に多くの死傷者を伴った火災、七月の山岳救助活動時における埼玉県消防防災ヘリコプターの墜落という大変心痛む事故は、いまなお記憶に残るところです。

このように、相次いで発生する自然災害や地域社会の情勢変化による災害の複雑多様化など、消防防災行政を取り巻く状況は、急流のごとく変化しており、国民の安心・安全を維持向上させるべくためには、総合的な消防防災行政を積極的に推進していく必要があります。

このため、消防の広域化や緊急消防援助隊の充実強化など消防組織における体制の強化とともに、医療機関との連携等を一層推進する必要があります。また、併せて一般家庭における住宅用火災警報器の設置の推進や、消防団や自主防災組織などの地域における総合的な防災力の強化にも積極的に取り組む必要があります。

現在、消防庁では、消防団の充実強化についての検討や火災予防行政のあり方に関する総合的な検討等を行っており、様々な課題について消防関係者や有識者を交えて検討しています。今後とも全国の消防機関と一体となり、国民の皆様が安心して暮らせる安全な社会を確保していくため、全力を挙げて取り組んでいかなければなりません。

皆様方におかれましては、我が国の消防防災・危機管理体制の更なる発展と、国民が安心して暮らせる安全な地域づくりのために、より一層の御支援と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

皆様方のますますの御健勝と御発展を祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。



新春のご挨拶

財団法人日本消防協会

会長 高木 繁光

平成二三年の輝かしい新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

全国の消防団員、消防職員の皆様は、常日頃、防災の最前線にあつて、地域の安心・安全を守るため、昼夜を問わず献身的にご尽力をされていることに対し、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

我が国の消防は、先人のたゆまぬご努力により国民から多大の信頼と期待を寄せられております。しかしながら、住宅等における火災は、依然としてあとを絶たずこれにより多くの方々の方が亡くなっております。また、風水害等の災害により、毎

年大きな被害が生じております。さらには、大規模地震の発生も懸念されており、消防がその使命を果たすことが安全で安心な社会を築くうえで益々重要となっております。

そのためには、常備消防だけでなく、「自らの地域は自ら守る」という郷土愛護の精神に支えられた消防団が地域防災の要として大きな役割を果たさなければなりません。

このような状況を踏まえ、当協会としては、消防団員の確保対策、消防団員等の知識技能の向上、消防資機材の改善充実、消防団員等の福祉厚生、消防国際交流等様々な事業に取り組んでおりますが、今後一層、地域に密着した消防団の重要性について国民の理解が深まるよう努めながら、我が国消防の発展に寄与して参りたいと考えております。

平成二五年は自治体消防六五周年の年に当たります。従来、自治体消防発足45周年、55周年等の節目では、日本消防協会が中心となり、記念式典等を行ってきたところですが、この年は、明治二十七年の消防組規則制定によって消防団が消防組として全国的にスタートして以来一二〇年に当たる年でもありますので、消防団一二〇年記念という形を正面に押し出し、一般国民にも消防団への理解が深まるような記念事業を実施することといたしております。何分大きな事業でありますので、本年から具体的な準備に着手したいと考えております。

最後に、全国の消防関係者の皆様は益々ご健で、地域の安心安全と郷土の発展のため、一層のご活躍をいただきますよう衷心よりお祈りして年頭のご挨拶いたします。

年頭のごあいさつ



秋田県市長会会長
秋田市長
穂積

志

全県消防関係者の皆様に、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様には、消防技術力の向上と土気の高揚に努められ、地域の平和を守るため、日夜、全力を挙げて取り組んでおられますことに、心から敬意を表します。

また、地元で根ざした消防として、県民の安全と安心の確保に大きく貢献しておられますことに、深く感謝を申し上げます。

さて、昨年の秋田県は、正に異常気象という言葉が相応しい一年といっても過言ではないと思います。夏の高温は、本県の農産物に大きな影響を及ぼしましたが、師走を迎えましても、なお例年にならない高い気温の状態が続いたところでもあります。

こうした気象の影響により、集中豪雨や突風などが頻発し、特に七月から九月にかけては、毎週のように大雨や強風が県内を蹂躪し、大きな被害をもたらしたところでもあります。

災害や事故の態様など状況は変化し続けておりますが、生命、身体、財産の保護という消防の使命に変わることはなく、まして、果たすべき役割と責務は、一段と重きを増しております。こうした中、秋田県が直面します過疎化や高齢化は、地域においてコミュニティの崩壊や消防の担い手不足が憂慮されるところであり、安全・安心を守り抜く消防の対応力も、これまで以上に向上させて

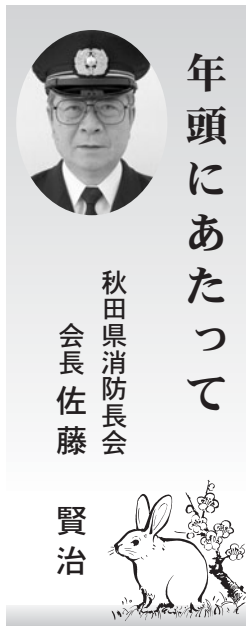
いかなければなりません。「何ができていれば被害を避けられたのか」、常に住民の目線に立ったきめ細かな取組みを着実に進めていく必要があります。

幸いにして、皆様方におかれましては、日頃の鍛錬はもとより、地域との連携や防災組織の強化等に弛まぬ努力を重ねられ、様々な事態に即応できる体制を構築しておられますことは、誠に心強く、大きな安心を覚えるところであります。

しかしながら、時々刻々と変化する社会・自然環境のもと、更なる住民の安寧を確保するため、現状に座して留まることなく、地域防災の要として、一層のご精進とご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年こそは笑顔溢れる一年でありますことを願い、関係各位のご健勝とご発展を祈念いたします。ごあいさつといたします。

年頭に あ た っ て



秋田県消防長会
会長 佐藤
賢治

平成二三年の新年を迎え、県内の消防関係者の皆様に謹んで新年のお喜びを申し上げます。

消防防災行政の第一線にあつて、各種災害から地域住民の生命、身体、財産を守るため、日夜献身的なご努力を払われております皆様に対しまして、深く感謝を申し上げます。

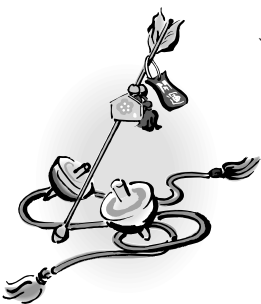
消防は、地域に密着した防災機関として、迅速かつ的確な消防行政の推進に努め、消防防災の充

実強化を図り、県民の「安心・安全の確保」に大きな役割を果たしているところではあります。近年では予測不能な集中豪雨や台風等の自然災害による大規模な救助事案が相次いで発生しています。また、火災をはじめとする災害態様も複雑多様化の傾向にあり、さらには、大規模地震の切迫性やNBCテロ災害等の危険性が指摘されているところでもあります。

秋田県消防長会といたしましては、広域消防相互応援の強化や、消防・救急無線のデジタル化、住宅用火災警報器の設置推進、救急業務の高度化など、消防本来の業務にかかるもののほか、県や医師会と協力し、「ドクターヘリ導入」に向けて検討を重ねており、平成二四年一月の運航開始を目指して参ります。

いづれにしましても、依然として厳しい財政状況の中、絶えず変化する社会情勢を的確に捉えながら、これらの事業を推進するとともに、ベテラン職員の大量退職等、直面する課題に適切に対処し、消防防災体制の確立に向け会員一丸となって取り組んでまいる所存です。

終わりになりますが、本年が災害のない平穏な一年となりますよう祈念いたしますとともに、秋田県消防協会のますますのご発展と、皆様のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



平成二二年度

消防団員指導員研修

秋田県消防学校



平成二二年度消防団員指導員研修は、一月二七日(土)、二八日(日)の両日、由利本荘市の秋田県消防学校で、県内二三消防団から二六名が参加して行われた。
二日間にあたって幹部の心得、安全管理、訓練礼式、普通救命講習などのカリキュラム

平成22年度消防団員指導員研修受講者名簿

鹿角市消防団	部 長	関 山	新久
大館市消防団	分団長	畠 川	和憲
北秋田市消防団	副分団長	森 沢	義満
上小阿仁村消防団	部 長	大 高	一 直
能代市消防団	副分団長	大 高	一 直
八峰町消防団	分団長	赤 川	秀 美
潟上市消防団	分団長	菊 地	栄 一
八郎潟町消防団	部 長	村 井	衆 正
井川町消防団	分団長	児 玉	武 夫
由利本荘市消防団	分団長	佐 藤	正 樹
にかほ市消防団	分団長	三 浦	仁 仁
大仙市消防団	部 長	藤 田	清 廣
大仙市消防団	副分団長	藤 嶋	俊 彦
仙北市消防団	副分団長	佐 藤	健 健
美郷町消防団	班 長	高 橋	強 志
横手市増田消防団	副分団長	松 井	大 作
横手市平鹿消防団	副分団長	小田嶋	久 久
横手市雄物川消防団	副分団長	児 玉	悦 朗
横手市雄物川消防団	副分団長	佐 藤	一 夫
横手市雄物川消防団	副分団長	佐 藤	晴 得
横手市大森消防団	副分団長	佐々木	重 一
横手市十字消防団	副分団長	柴 田	和 久
横手市山内消防団	分団長	佐々木	雄 一
湯沢市消防団	部 長	阿 部	正 見
羽後町消防団	分団長	藤 原	宣 一
東成瀬村消防団	分団長	平 良	肇 肇

を受講した入校生からは、「消防団に求められている事と今後の意義が聴け、勉強になった」「見知らぬ人たちが集まって、初めはぎこちなかったが、交流会の後は、とても和やかで素晴らしい研修となった」「多くの団員にも受講させたい」との感想が寄せられた。
また、研修の印象は「大変良かった」「一八名、「まあまあ良かった」が八名。講義の内容では「良く分かる」「一四名、「まあまあ分かる」が一二名となった。」

消防半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 ギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

消防団員入団促進 キャンペーン実施中

ー一月から三月までー

消防団・消防団員とは

消防団は、消防本部や消防署と同様に市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、本業を持ちながらも「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づいて、地域の安全・安心を確保するために活動する非常勤特別職の地方公務員です。

消防団員数は年々減少

本県の消防団員数は、昭和三一年には三万六千人が在籍していましたが、その後、過疎化・少子高齢化の進行、産業・就業構造の変化等に伴い、年々減少し続け、平成二二年は半分の一万八千人となっており、地域における消防防災力の低下が懸念されています。

入団促進重点推進事項

(一) 被雇用者の入団促進

現在の消防団員の約七割が、会社員などの被雇用者です。消防団活動には事業所の協力が不可欠となっており、より一層、事業所との連携強化を図って、従業員の入団促進を進めていく必要があります。

(二) 女性の入団促進

消防団員数が減少している中、女性消防団員は増加傾向にあり、本県の女性消防団員数は、平成二二年、一八二名の方が在籍しています。女性消防団員の活動は、火災予防広報、一般家庭や高齢者宅への防火訪問、応急手当の普及啓発活動など多岐にわたっています。

(三) 大学生等の入団促進

消防団員の高齢化が進む中、若年層の消防団員確保が大きな課題となっています。大学生等(専門学校生

を含む)の若い力を、消防団活動で発揮していただくことは大変有意義なことです。全国では、一千八百人(平成二二年)の大学生等が消防団で活躍しています。

多くの方の消防団入団を期待

消防団は、地域防災の中核的な存在で、地域の安全・安心を確保するために大変重要な組織です。是非、多くの皆様に消防団活動に対する理解を深めていただき、一人でも多くの方に消防団活動に参加いただけることを期待しています。

あなたの想いで、守れる街がある。
あなたの想いで、救える命がある。
あなたの想いで、深まる絆がある。

消防団ホームページをご覧ください。消防団 (緑巻)

消防団員募集

消防団員募集の手続き等については、各市町村等で定められています。居住地(あるいは勤務地)の市役所・町村役場、または最寄の消防署にお問い合わせください。

お問い合わせ先・電話番号

制作 財団法人 消防科学総合センター 監修 総務省消防庁 消防団協力事業所表示制度

宝くじの収益金は、身近な街づくりに役立っています。

森田ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 協立
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防

ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備

火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

消防団員を募集しています

自分のまちを災害から守り、まちの安全と安心をつくる消防団員を募集しています。

消防団員を募集している消防団は次の通りですが、その数や応募条件は平成22年12月時点のものです。詳細については、市町村の消防担当課または消防本部にお問い合わせ下さい。

多くの方の応募をお待ちしております。

消防団名	募 集 人 数			応 募 の 条 件		問 い 合 わ せ 先	
	総数	男性	女性	居住地又は勤務地	年 齢	課 所 名	電 話 番 号
鹿角市	38	35	3	当市に居住する者	18歳以上	消防本部	0186-30-0254
小坂町	22	性別不問		当町に居住する者	18歳以上	町民課	0186-29-2400
大館市	152	146	6	当市に居住する者	18～44歳	消防本部	0186-43-4152
北秋田市	89	89	0	当市に居住する者	18歳以上	消防本部	0186-62-1119
上小阿仁村	16	16	0	当村に居住又は勤務	18歳以上	住民福祉課	0186-77-2221
能代市	100	性別不問		当市に在住する者	18～64歳	能代消防署	0185-52-3311
藤里町	0	0	0			町民生活課	0185-79-2113
三種町	73	性別不問		当町に居住又は勤務	18歳以上	町民生活課	0185-85-4833
八峰町	20	性別不問		当町に居住する者	18歳以上	総務課	0185-76-4601
男鹿市	37	性別不問		当市に居住する者	18歳以上	環境防災課	0185-24-9113
潟上市	45	性別不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	生活環境課	018-877-7802
五城目町	34	性別不問		当町に居住する者	18歳以上	町民福祉課	018-852-5112
八郎潟町	43	43	0	当町に居住する者	18～65歳	町民福祉課	018-875-5806
井川町	13	13	0	当町に居住する者	18歳以上	町民課	018-874-4416
大潟村	0	0	0			住民生活課	0185-45-2114
秋田市	119	110	9	当市に居住する者	18～45歳	消防本部	018-823-4000
由利本荘市	120	110	10	当市に居住又は勤務	18歳以上	消防本部	0184-24-6295
にかほ市	55	55	0	当市に居住する者	18歳以上	消防本部	0184-38-2311
大仙市	363	323	40	当市に居住又は勤務	18～64歳	消防安全課	0187-63-1111
仙北市	131	性別不問		当市に居住する者	18～65歳	環境防災課	0187-43-3308
美郷町	36	36	0	当町に居住する者	18～55歳	住民生活課	0187-84-4903
横手市横手	85	85	0	当市に居住又は勤務	18歳以上	地域振興課	0182-32-2701
横手市増田	16	16	0	当市に居住又は勤務	18歳以上	地域振興課	0182-45-5510
横手市平鹿	52	50	2	当市に居住又は勤務	18歳以上	地域振興課	0182-24-1283
横手市雄物川	37	20	17	当市に居住又は勤務	18歳以上	地域振興課	0182-22-2111
横手市大森	33	23	10	当市に居住又は勤務	18歳以上	地域振興課	0182-26-2111
横手市十文字	62	62	0	当市に居住又は勤務	18歳以上	地域振興課	0182-42-5111
横手市山内	21	21	0	当市に居住又は勤務	18歳以上	地域振興課	0182-53-2111
横手市大雄	28	28	0	当市に居住又は勤務	18歳以上	地域振興課	0182-52-2111
湯沢市	143	133	10	当市に居住する者	18～64歳	くらしの相談課	0183-73-2111
羽後町	48	48	0	当町に居住する者	18～54歳	生活環境課	0183-62-2111
東成瀬村	32	32	0	当村に居住する者	18歳以上	民生課	0182-47-3403

支部情報アラカルト

消防団員教養研修会実施

Ⅱ 男鹿潟上南秋支部 Ⅱ

去る十一月七日(日)に井川町町民体育館において、男鹿潟上南秋支部消防団員教養研修会が開催され、管内六市町村の消防団幹部が参集し、住宅用火災警報器設置推進事業による指導員研修会がおこなわれました。

これは、住宅用火災警報器設置促進を図る上で指導的な立場となる消防団員を育成するための研修で、湖東地区消防本部から講師を招き実施



したものです。参加した消防団員は火災警報器設置義務化が進む中、住宅用火災警報器をPRする際に必要な知識や活動の進め方などをテキスト

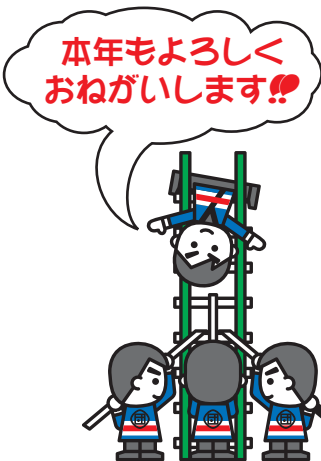


トに基づき習得しました。このあと、引続き応急手当講習会が行われました。

はじめに、救命に必要な基礎知識の座学をおこなった後、小グループに分かれ実際にダミー人形を使用し、心肺蘇生法について学びました。また、AED(自動体外式除細動器)を使用して電気ショックの必要性、重要性について学び、管内のAED設置個所や、実際に有事に直面したときの対応等についての確認をしました。

今回の研修会、講習会は、十一月の寒い中での実施となりましたが、体育館内は熱気あふれる充実した研修会となりました。

(情報提供 Ⅱ 男鹿潟上南秋支部)



	平成22年		平成21年			同期比較	
	12月	累計	12月	累計	年計	12月	累計
建 物	14	227	24	236	236	- 10	- 9
林 野	0	14	0	46	46	0	- 32
車 輜	2	26	7	44	44	- 5	- 18
そ の 他	2	53	1	97	97	1	- 44
合 計	18	320	32	423	423	- 14	- 103
死 者 数	1	20	2	36	36	- 1	- 16
負傷者数	2	52	3	46	46	- 1	6

火災の発生状況

速報値

(秋田県総合防災課調べ)



財団法人秋田県消防協会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 主 事 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 副 会 | 会 | 長 | |
| 任 長 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 長 | 長 | 中 泉 松之助 | |
| 石 山 和 美 | 佐 藤 孝 子 | 進 藤 鋼 司 | 高 山 藤 悦 | 鈴 木 由 太 郎 | 佐 々 木 善 廣 | 日 沼 一 之 | 高 橋 庄 孝 | 佐 藤 賢 治 | 三 浦 勝 二 | 成 田 十 喜 男 | 稲 葉 盛 榮 | 浅 野 周 一 | 黒 澤 文 男 | 金 子 哲 雄 | 菊 地 嘉 武 | 草 野 忠 誠 | 畠 山 勉 |